

Dory


DP5343-12a-MG

NEXO

NEXO Dory

USBソフトウェア経由のリモートコントロール



 v2.12用ユーザーガイド（macOS、WindowsおよびAndroid用）

NEXO Doryをダウンロードいただきありがとうございます。本マニュアルでは、NEXO Doryの機能を紹介し、使用方法をステップバイステップで説明します。

プレゼンテーション

NEXO Doryは、USBコントロールポートを搭載したNEXO機器用のリモートコントロールソフトウェアです。本書の執筆時において、Doryと互換性のあるNEXO機器はDigital TDcontroller (DTD) のみです。

互換性

NEXO Dory v2.12は、以下のバージョンに対応しています。

- macOS 10.13 High Sierra以降
- Windows 7.0以降
- Android 5.0 Lollipop (API 21) 以降

v2.12の更新情報

- P18とL20の設定を新たに追加しました。

Dory v2.11

- ePS12、eLS18、およびGeoS12の設定を新たに追加しました。

Dory v2.10

- GeoM6、GeoM10、GeoM12、MSUB18、およびIDS210の設定を新たに追加しました。

Dory v2.06

- P15とL18の設定を新たに追加しました。

Dory v2.05

- デバイスIDが自動で追加および修正されるようになりました。デバイスIDはDante Controllerから設定できます。
- Danteファームウェアが新しくなりました。
- Dante Controller経由でDTDの機能を確認できるようになりました。
- アンプセンスを最適化しました。
- ID14とIDS108の設定を微調整しました。
- NEXO NeMoで発生していたPUKの解除に関する不具合を解消しました。
- NEXO DoryをAndroid 10用にアップデートしました。

Dory v2.04

- ID14、IDS108、およびMSUB12の設定を新たに追加しました。
- テキストを編集する際のピリオドやコンマに関するバグを修正しました (macOS/Android環境)。
- 「Automatically look for Dory updates」のオプションに関するバグを修正しました。
- その他の改善とバグ修正を行ないました。

Dory v2.03

- P8とP10の設定を新たに追加しました。
- テキストフィールドを編集した後の予期せぬ移動に関するバグを修正しました。
- その他の改善とバグ修正を行ないました。

Dory v2.02

- P12とL15の設定を新たに追加しました。
- キーボードによる移動（上、下、戻る、など）を追加しました。
- EQビューを改善しました（バンド削除のショートカットを追加、コピー/貼り付けのバグを修正）。
- クイックスタートとヘルプのメニューを新たに追加しました。
- その他の改善とバグ修正を行ないました。

Dory v2.01

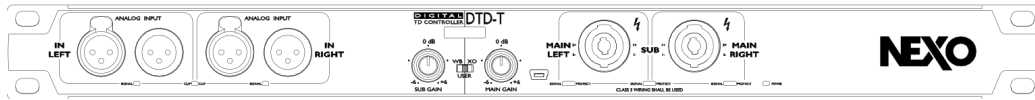
- NXAMPプロセッシングに合わせてスピーカープロセッシングを最適化
- センスケイブルの問題を検知および回避するよう、アンプセンスコントロールを最適化
- アナログ入力またはAES入力（ゲインおよびディレイ関連）を使用するときのNXAMPとDTD間の互換性を最適化しました。
- 要件: ディレイへの互換性が必要な場合、手動でNXAMPに0.14メートルのディレイを加える必要があります。
- Doryからスピーカーへのロードが迅速化（Dory 1.12と比較）。
- -60dBFSまでの範囲の新しいコンプレッサースレッシュヨルド。
- 各出力のディレイが最大190msに。
- 各指向特性に対するID24セットアップ（Main、Front、Monitor、およびLounge）を新たに追加しました。
- 新しいGeo M10セットアップ（1台、2〜3台、スタックモニター用）。

- 新しいMSUB15セットアップ（無指向性およびスタックモニター用）。
- M6Bセットアップ、「Sub」チャンネルにロード可能。
- 2.01でDoryのDTDがアップデートされた以降は、NeMoを使用したネットワーク全体のリモートコントロールが使用可能になりました。

プレゼンテーション	2
互換性	2
v2.12の更新情報	2
DoryとDTDの機能	6
スピーカーおよびサブの選択	6
ハードウェアモードまたはソフトウェアモードでのDTDの使用	10
Doryのインストール	12
DTDとDoryの接続	13
Doryの使用	14
DTDファームウェアのアップグレード	14
Danteファームウェアのアップグレード	15
スピーカーセットアップの変更	15
DTDパラメーターの変更	17

DORYとDTDの機能

DTDは外部リモートコントロールソフトウェアなしでも使用できますが、適切なスピーカーセットアップを選択するために、少なくとも1回はDoryを実行しているコンピューターにDTDを接続する必要があります。



DTDは、フロントパネルにコンピューター接続用のmini-USBポートを備えています。

スピーカーおよびサブの選択

NEXO Dory v2.12で使用可能なスピーカーセットアップは以下のとおりです。

Flatスピーカープリセット

- EQおよびプロテクションなしのFlatプリセット

ID Series

- ID84 Narrow/Wide、90、120Hzクロスオーバー
- ID84L Narrow/Wide、90～1.5k / 120～1.5kHzクロスオーバー

FOH用途向けの「Main」モード

- ID14 100x100、120 / 150Hzクロスオーバー
- ID14 140x90、120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

フロントフィル用途向けの「Front」モード

- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

モニター用途向けの「Monitor」モード

- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

ラウンジ用途向けの「Lounge」モード

- ID14 100x100、120 / 150Hzクロスオーバー
- ID14 140x90、120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

Plus P Series

FOH用途向けの「Main」モード

- P8 100x100、66 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P8 110x60、66 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P10 100x100、63 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P10 110x60、63 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P12 60x60パッシブ、60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P12 90x40パッシブ、60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P12 PSパッシブ、60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- P15 60x60パッシブ、57, 85, 120 Hzクロスオーバー
- P15 90x40パッシブ、57, 85, 120 Hzクロスオーバー
- P15 PSパッシブ、57, 85, 120 Hzクロスオーバー
- P18 60x60パッシブ、50, 85, 120 Hzクロスオーバー
- P18 90x40パッシブ、50, 85, 120 Hzクロスオーバー
- P18 PSパッシブ、50, 85, 120 Hzクロスオーバー

モニター用途向けの「Monitor」モード

- P8 100x100、66 / 85 Hzクロスオーバー
- P8 110x60、66 / 85 Hzクロスオーバー
- P10 100x100、63 / 85 Hzクロスオーバー
- P10 110x60、63 / 85 Hzクロスオーバー

- P12 60x60パッシブ、60 / 85 Hzクロスオーバー
- P12 90x40パッシブ、60 / 85 Hzクロスオーバー
- P12 PSパッシブ、60 / 85 Hzクロスオーバー
- P15 60x60パッシブ、57, 85 Hzクロスオーバー
- P15 90x40パッシブ、57, 85 Hzクロスオーバー
- P15 PSパッシブ、57, 85 Hzクロスオーバー
- P18 60x60パッシブ、50, 60 Hzクロスオーバー
- P18 90x40パッシブ、50, 60 Hzクロスオーバー
- P18 PSパッシブ、50, 60 Hzクロスオーバー

ePS Series

- ePS6メイン、90 / 120 / 150 Hzクロスオーバー
- ePS8メイン、70 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- ePS10メイン、60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- ePS12メイン、60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー

PS Series

- PS8メイン、70 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- PS10メイン（第1世代）、70 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- PS10R2メイン、70 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- PS15メイン（第1世代、パッシブモード）、50 / 85 Hzクロスオーバー
- PS15R2パッシブメイン、50 / 60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- PS15R2パッシブモニター、50 Hzクロスオーバー

Geo Mシリーズ

- GeoM6（x1スタンドアローン）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM6（x2～x3クラスター）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM6（x4～x12クラスター）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（x1スタンドアローン）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（x2～x3クラスター）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（x4～x6クラスター）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（x7～x12クラスター）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（スタックモニター）、63 / 75 / 85Hzクロスオーバー

- GeoM12 (x1スタンドアローン)、50 / 60 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM12 (x2~x3クラスター)、50 / 60 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM12 (x4~x6クラスター)、50 / 60 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM12 (x7~x12クラスター)、50 / 60 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー

Geo Series

- GeoS1210、50 / 60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- GeoS1230、50 / 60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- GeoS1210ST、50 / 60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー
- GeoS1230ST、50 / 60 / 85 / 120 Hzクロスオーバー

NEXO Dory v2.12で使用可能なサブセットアップまたはバスキャビネットセットアップは以下のとおりです。

スタンダードサブ

- 40~85Hzクロスオーバー、プロテクションなしのGeneric Subプリセット

IDS Series

- IDS108、50~120 / 50~150Hzクロスオーバー
- IDS110フロント/オムニ、40~85 / 40~95 / 40~120Hzクロスオーバー
- IDS210フロント/オムニ、40~85 / 40~95 / 40~120Hzクロスオーバー
- IDS312、40~85 / 40~120 / 40~150Hzクロスオーバー
- IDS312、63~120 / 63~150Hzクロスオーバー

Plus L Series

- L15フロント/オムニ、40~85 / 40~120Hzクロスオーバー
- L15モニター、40~120Hzクロスオーバー
- L18フロント/オムニ、32-60 / 32-85 / 32-120 Hzクロスオーバー
- L18モニター、32-85 / 32-120 Hzクロスオーバー
- L20フロント/オムニ、28-60 / 28-85 / 28-120 Hzクロスオーバー
- L20モニター、28-70 / 28-85 Hzクロスオーバー

eLS Series

- eLS400、45~85 / 45~120 / 45~150Hzクロスオーバー
- eLS600、40~85 / 40~120 / 40~150Hzクロスオーバー
- eLS18、32~85 / 32~120 / 32~150Hzクロスオーバー

LS Series

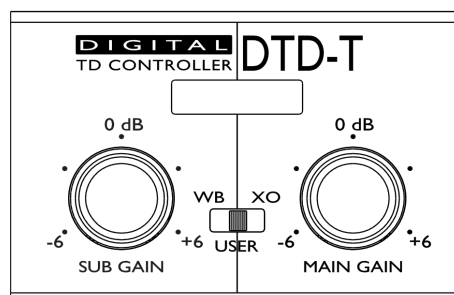
- LS400、40～85 / 40～120 / 60～120Hzクロスオーバー
- LS500、35～85 / 35～120Hzクロスオーバー
- LS600、40～85 / 40～120 / 60～120Hzクロスオーバー
- LS1200、35～85 / 35～120Hzクロスオーバー
- LS18、35～60 / 35～85 / 35～120Hzクロスオーバー

Geo Mシリーズ

- Geo M6B (x1スタンドアローン) 、70～180 / 85～180Hzクロスオーバー
- MSUB12フロント/オムニ、45～85 / 45～120 / 45～150 / 63～120 / 63～150Hzクロスオーバー
- MSUB15フロント/オムニ、40～63 / 40～75 / 40～85 / 40～95 / 40～120Hzクロスオーバー
- MSUB15モニター、40～63 / 40～75 / 40～85Hzクロスオーバー
- MSUB18フロント/オムニ、32～50 / 32～60 / 32～75 / 32～85 / 32～95 / 32～120Hzクロスオーバー

ハードウェアモードまたはソフトウェアモードでのDTDの使用

セットアップをDTDにダウンロードしたら、DTDをハードウェアモード（コンピューターなし）で使用できるようになります。そのためには、フロントパネルスイッチを(「WB」)または(「XO」)ポジションに設定します。



広帯域

スイッチが(「WB」) (広帯域) ポジションにある場合:

- メインキャビネットの帯域は最大になります。
- サブキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。

この場合、メインとサブ間のオーバーラップによって、低域の出力が上がりますが、メインスピーカーからの最大の音圧レベルが制限されます。

クロスオーバー

スイッチが「XO」（クロスオーバー）ポジションにある場合:

- メインキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。
- サブキャビネットのクロスオーバーポジションはデフォルト値になります。

これらのポジションでは、クロスオーバーポイントを除くDTD内部のすべての設定はデフォルト値に設定されます。ただし、フロントパネルのノブを使用して、サブとメインのゲインを調節できます。

ユーザー

この場合、DTD内部のすべてのパラメーター（Input patch、Gain、Delay、User EQ、User compressorなど）を調節できます。ゲインは、フロントパネルのノブとソフトウェアのどちらを使用しても調節できます。

DORYのインストール

NEXO Doryはマルチプラットフォームソフトウェアとして開発されており、WindowsまたはmacOSで稼働するコンピューター、およびAndroidで稼働するモバイルデバイスまたはタブレットデバイスで実行できます。

Dory v1.12以降では、新しいバージョンが入手可能になると通知が表示されます（インターネットへの接続が必要です）。

Windows版

インストーラーをNEXOウェブサイトからダウンロードしてください。

Windows で 稼 働 す る コ ン ピ ュ ー タ ー で 、 イ ン ス ト ー ラ ー ファ イ ル NEXO_Dory_Setup_x86_2.12.exeをダブルクリックしてDoryをインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Doryを使用できます。

Mac版

インストーラーをNEXOウェブサイトからダウンロードしてください。

macOSで稼働するコンピューターで、インストーラーファイルNEXO_Dory-2.12.dmgをダブルクリックしてDoryをインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Doryを使用できます。

Android版

Google Playストアにアクセスし、「NEXO Dory」を検索してください。認証要求を承認し、アプリをダウンロードします。

Doryをインストールするには、AndroidデバイスがOTGに対応している必要があります。お使いのAndroidがOTGに対応しているかは、インターネットで確認してください。

DTDとDORYの接続

DTDとNEXO Doryを接続するには:

1. DTDの電源プラグを接続し、DTDの電源を入れます。
2. DTD付属のmini-USBケーブルを、コンピューターの空きUSBポートに接続します。

*Android*で以下の操作を実行します。

3. OTGケーブルを使用してAndroidをDTDに接続します。その後、承認要求を承認し、DTDにアクセスします。
- 一度起動すると、次回からはDTDに接続するだけでDoryが自動的に起動します。

*macOS*の場合:

3. アプリケーションフォルダーのNEXO Doryのアイコンをダブルクリックします。

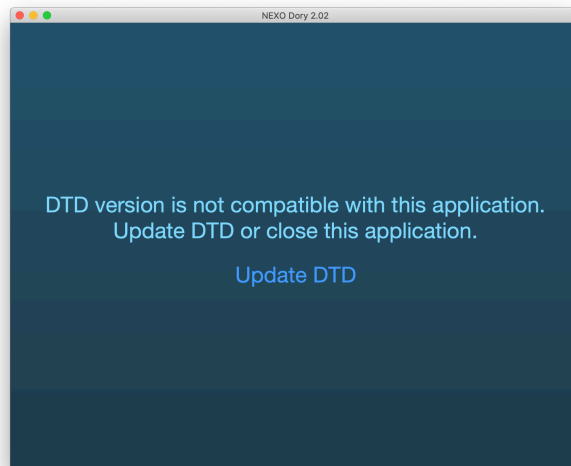
*Windows*の場合:

3. 必要なドライバーがインストールされるまで待ちます。DTDはWindowsにプリインストールされたドライバーのみを使用するため、特別なドライバーのダウンロードは不要です。
4. Windowsでハードウェアのインストールが正常に行なわれた旨のメッセージが表示されたら、「スタート」メニューのショートカットまたは検索バーからDoryを起動できます。

DORYの使用

DTDファームウェアのアップグレード

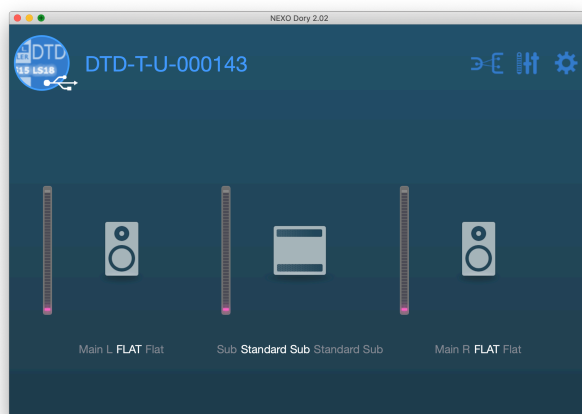
DoryがコンピューターのUSBポート上にDTDを検出すると、まず機器のファームウェアバージョンを確認します。DTD内部のファームウェアがDoryに組み込まれたファームウェアと異なる場合、以下のメッセージが表示されます。



「**Update DTD**」をクリックすると、機器が再起動され、Doryから機器への新しいファームウェアのアップロードが開始されます。



ファームウェアがアップロードされると、Doryのメインビューに現在のスピーカーのセットアップが表示されます。セットアップを選択していた場合、ファームウェアの更新後にそのセットアップが再度読み込まれます。スピーカーのセットアップが定義されていなかった場合、デフォルトで「Flat」スピーカーモードがデフォルトスピーカーのアイコンで表示されます。



Danteファームウェアのアップグレード

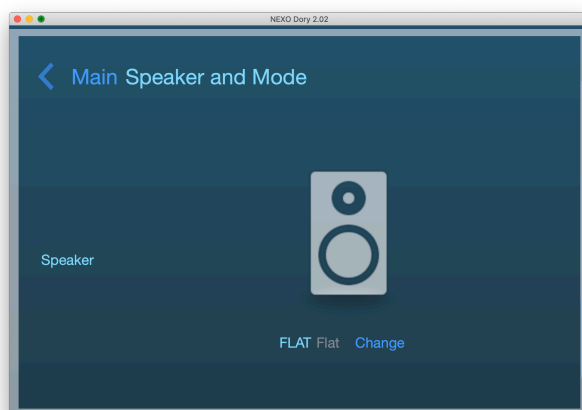
インストールパッケージに含まれているDante Updaterを使用して、Danteファームウェアをアップデートしてください。Dante Updater のドキュメントにアクセスするには、下記のリンクを参照してください。 https://dev.audinate.com/GA/dante-controller/userguide/webhelp/content/dante_updater.htm

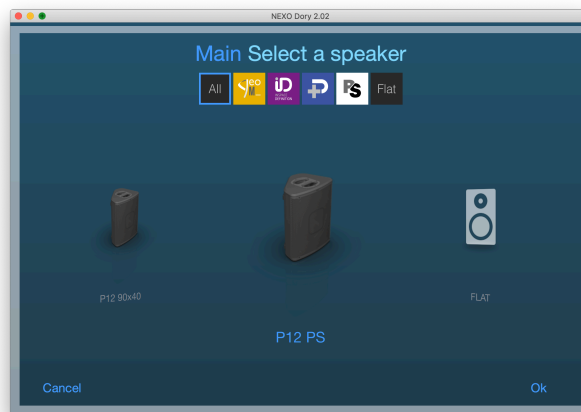
スピーカーセットアップの変更

スピーカーセットアップはメインとサブで別々に変更できます。つまり、メインスピーカー（ステレオ）とサブスピーカー（モノラル）の任意の組み合わせが可能です。ただし、メインの左と右で別々のスピーカーに出力することはできません。

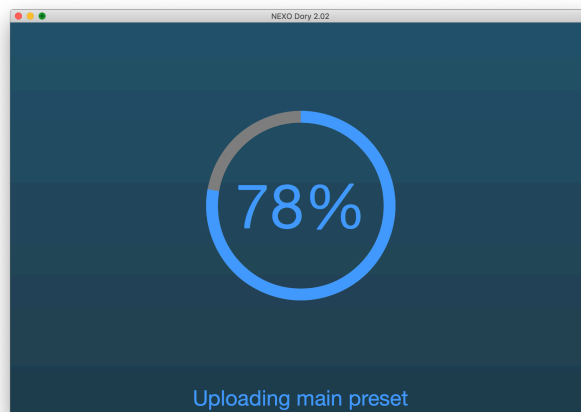
デフォルトのFLATセットアップは、デフォルトのSUBセットアップと併せてのみ使用できます。

スピーカーアイコンをクリックしてスピーカープリセット画面を開き、「**Change**」を選択します。

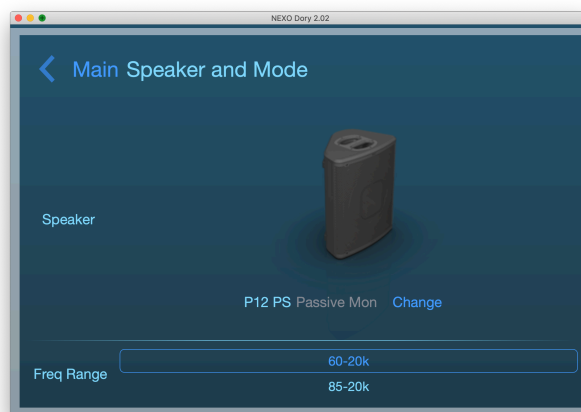




センタースピーカーから左右にスワイプして他のプリセットにアクセスし、選択したら「OK」を押します。DoryによりスピーカプリセットがDTDの内部メモリーにアップロードされます。



次に、選択肢のリストからクロスオーバーを選択できます（フロントパネルのスイッチが「USER」ポジションになっているかを確認してください。それ以外のポジションの場合、この機能は読み取り専用になります）。



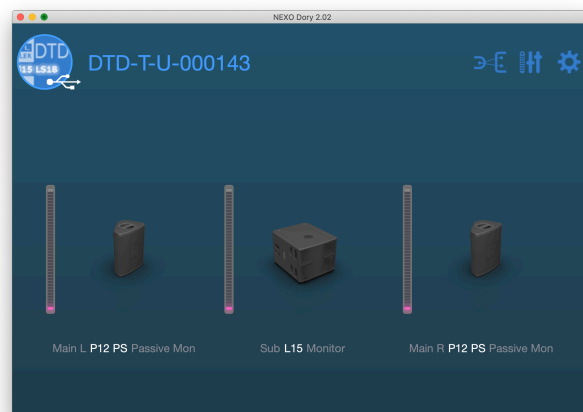
スピーカーセットアップが呼び出されたら、ソフトウェアを閉じてDTDをハードウェア

モードでスタンドアローン機器として使用するか、引き続きソフトウェアモードで機器の設定を行なえます。

DTDパラメーターの変更

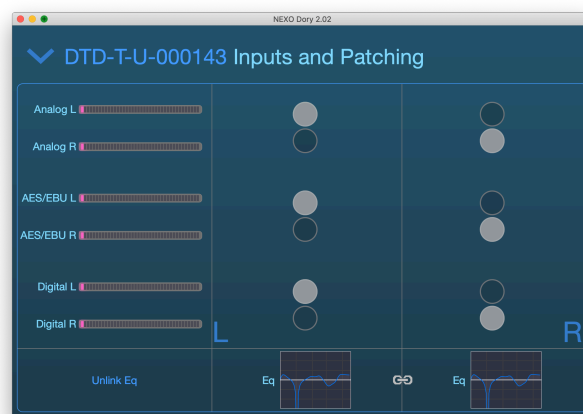
デフォルトページ

Doryのデフォルトビューでは、出力レベルの表示メーターと選択したスピーカーを確認できます。他の3つのページには、画面上部のDTD名の横にあるボタン（下図で囲まれた箇所）をクリックして移動できます。



「Inputs and patching」ページ

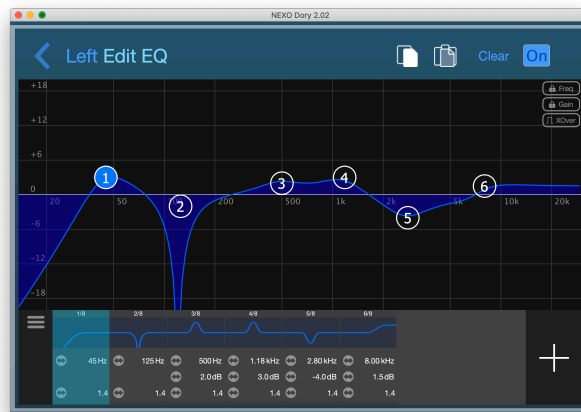
最初のボタンをクリックすると、入力設定のページが開きます。



このページでは、以下の調節を行なえます。

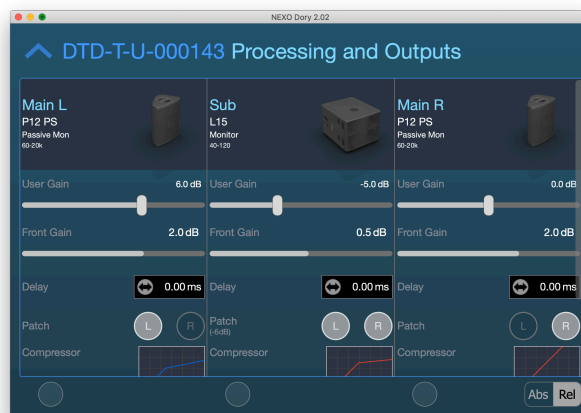
- すべての入力の入力メーター（DTDはWindowsでUSBサウンドカードとしても検出されるため、「Digital L/R」はUSBオーディオ入力を表わします。Dante入力の場合は以下を参照してください）。
- 物理入力から内部のL/Rプロセッシングチャンネルへの入力パッチ。

- **User EQ**（ステレオ8バンドフルパラメトリックEQ）。「**Link Eq**」を使用すると両方のチャンネルを編集できます。
- USBとDanteからデジタルソースを選択するための**デジタルスイッチ**（Dante版のみ）。



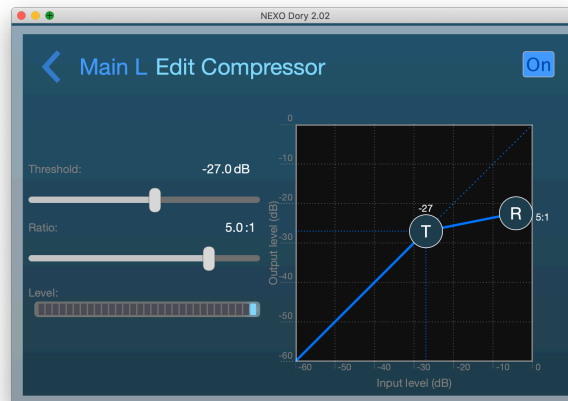
「Processing and outputs」ページ

2番めのボタンをクリックすると「Processing and outputs」ページが開きます。このページでは3つの出力設定を行なえます。



- スピーカータイプとクロスオーバーの調整。
- -18dB～+18dBでのゲイン。
- フロントパネルゲイン、フロントパネルノブのリードバック（DTD-Tモデルの場合）。
- ユーザーディレイ（ms、m、またはft）（単位をクリックして変更）。
- PEプロセッシングチャンネルから出力へのパッチ、出力ごとにL/Rまたは（L+R）を選択。「L+R」を選択すると、自動的に-6dBのゲインが内部的に適用されます。
- ユーザーコンプレッサー。このコンプレッサーを設定すると、NEXOの内部プロテ

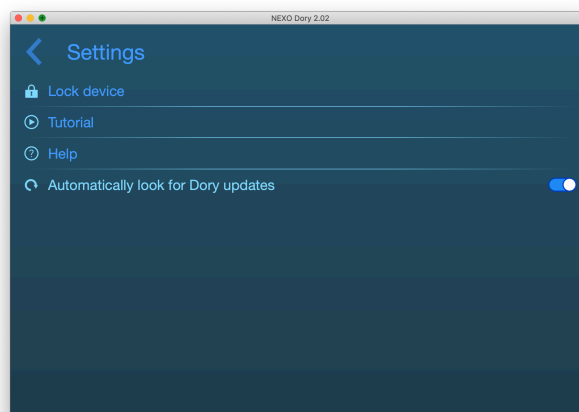
クッションより優先される形で出力レベルを制限できます（たとえば、スピーカーの出力レベルを特定の音圧レベルに制限します）。



ゲイン、ディレイ、およびユーザーコンプレッサーには、画面の一番下にある丸い選択ボタンを使用して、複数のチャンネルでパラメーターを同時に調節できます。必要に応じて、選択ボタンの横にある「Abs/Rel」スイッチを切り替えます。

「Settings」 ページ

3番めのボタンをクリックすると、設定ページが開きます。



- － 「**Lock device**」機能を使用すると、PINコードで機器をロックできます。このコードは、機器の設定を編集する前に入力求められます。
- － 機能の詳細については、「**Tutorial**」を確認してください。
- － このユーザーガイドをデフォルトのPDFファイルビューアーで開くには、「**Help**」を使用します。
- － 「**Automatically look for software updates**」をオンにすると、新しいバージョンのリリースが通知されます。

フィードバックおよびバグ報告: technical@nexo.fr. ご協力いただきありがとうございます。

デバイス、本ソフトウェア、およびマニュアルの不適切な使用により生じた損害について、NEXO SAは責任を負わないものとします。

本ソフトウェアおよびマニュアルに対しては、NEXO SAが独占的な著作権を所有しています。NEXO SAの書面による同意がない限り、ソフトウェアまたはそのマニュアルのコピーおよび複製は、一部のみであっても禁止されています。

本ドキュメントに表示されるスクリーンショットは、対象となる言語とバージョンによって異なる場合があります。

Appleは、米国およびその他の国々におけるApple Inc.の登録商標です。Google PlayストアおよびAndroidはGoogle Inc.の登録商標です。DanteおよびDanteロゴはAudinate Pty Ltdの商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

NEXO SA
PARC D'ACTIVITE DE LA DAME JEANNE
F-60128 PLAILLY

Phone: +33 3 44 99 00 70

Fax: +33 3 44 99 00 30

Email: info@nexo.fr

Web site: www.nexo-sa.com